

発行所  
西蒲原郡  
巻町中央公民館  
編集人 北川郡司  
印刷所 北洋印刷株式会社

### 農民の悲願

## 鰐瀉の歴史を探る

◇…鰐瀉が近く国営事業として干拓されると言う、しかし三…◇  
◇…百年前既に問題となりわれわれの先祖がこの瀉をめぐつ…◇  
◇…て数々の流血をみる、いやある者は死罪に又或るものは…◇  
◇…庄屋役取りあげと言う悲惨な事件を繰り返して来た…◇  
◇…反面かつては四季折々瀉を訪れる遊客特に連の瀉として…◇  
◇…多くを築きましたとか、時代の流れは幾多の歴史をのり…◇  
◇…こえ力強い歩みをつけてゆく、やがて美田と化す日も…◇  
◇…近いこの鰐瀉の歴史を探つてみた。

### 三瀉水抜一件覺書

(一) 元祿頃からの新田開  
発ブームは、こゝ蒲原  
湿地帯をも見落しはし  
なかつた。度々のわれ  
われの總代の抗議にも  
かゝらず、まず鰐瀉  
清水の場合の遊水地と  
して鋤入れを禁止され  
ていた、御封印野の開  
発が、排水路を黒鳥、  
鳥原の線に作ることに  
よつて、延享三年(一  
七四五)許可された。

(二) しかしこの工事は、  
工事最中信濃川の洪水  
によつて逆流をおこし  
絶たない。そのたび検

(三) 三瀉新開闢人は後を  
以下各地庄屋ら三十人

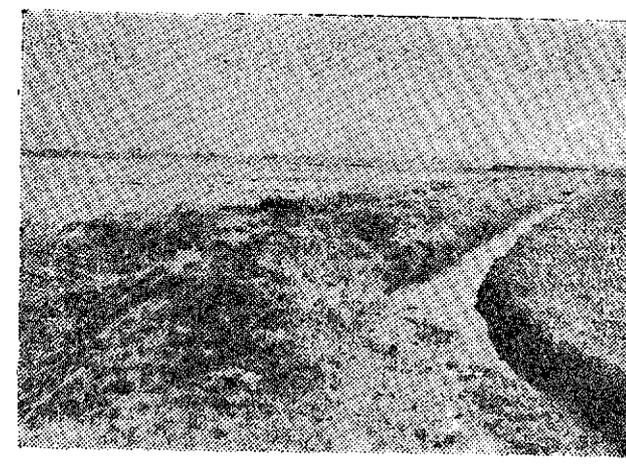
にわたる鉋罰である。  
とうとう新瀉町内野  
村からいろいろ約束の  
上、文化十四年(一八  
一七)金蔵坂堀割は許  
可され、文政三年(一  
八二〇)完成する。  
この目論見には、し  
かし巻組は冷淡であつ  
た。下流の田瀉大瀉は  
なるほど干あがるであ  
ろうが、上流の鰐瀉に  
は影響なからうし、む  
しろ水吐場を失つて洪  
水になりやすいだろ  
うとの見通しからし  
かつた。

天保三年(一八三二)  
夏六月のことである。  
一旦御請書は出して  
あるし、藩の慰留もあ  
り、表向き蒲原兩組三  
十七カ村引請、内実巻  
組、湯前組庄屋六人、  
一漆山、河井、巻、葉  
宣場、中郷屋、真田、  
一で西川伏越樋二門増  
設早通川改修をやるこ  
ともになった。

(四) 工事は完成したが翌  
年は雨ばかり降つて瀉  
内過水で新開闢下ど  
ころの話でない。  
庄屋株を抵当にして  
借りた金は矢の催促さ  
れるし、内野村へ出す  
るの井料米は払えない  
曾根組との金子出入は  
解決されず、あてにし  
ていた人夫賃はなかな  
かもとそう期待の  
もてる工事ではなかつ  
たし、第一金はないし  
凶作だしするの何度  
も願つて千五百両だけ  
拜借し、催促に催促さ  
れて、天保四年(一八  
三三)工事を始め、同  
六年予定だけの工事は  
完成した。

(五) 工事は完成したが翌  
年は雨ばかり降つて瀉  
内過水で新開闢下ど  
ころの話でない。  
庄屋株を抵当にして  
借りた金は矢の催促さ  
れるし、内野村へ出す  
るの井料米は払えない  
曾根組との金子出入は  
解決されず、あてにし  
ていた人夫賃はなかな  
かもとそう期待の  
もてる工事ではなかつ  
たし、第一金はないし  
凶作だしするの何度  
も願つて千五百両だけ  
拜借し、催促に催促さ  
れて、天保四年(一八  
三三)工事を始め、同  
六年予定だけの工事は  
完成した。

(六) 人間は、  
その力の  
及ばない  
ものに出  
合つと、  
いつとは  
なしにこ  
れを神祕  
化して、人間らしい  
情緒を作り上げよう  
とする。  
鰐瀉に大蛇が住む—  
—そして漆山の寺御  
講頭になると、よく  
雨が降る、大蛇が詣  
るからだ。  
しかし、いつとはな  
しに、我々の頭の中  
から鰐瀉の大蛇は消  
えていて、真近くそ  
こに、明るい沃野が  
拓けようとしている  
こうして、時代は新  
しく、明るい環境を  
作つて行く。  
◆その中に、我々の生  
活だけが古い、暗い  
惨めな因習に、我々  
の生活が占領されて  
いる。  
◆明るい環境と言ふに  
は、余りにも重過ぎ  
る習慣がのしかかっ  
ているのだ。  
◆「しきたり」にしば  
られて、うごめいて  
いる生活の「干拓」  
は出来ないものであ  
るか。(西村)



文政三年(一八二六)  
更に樋一門を増設し  
たが排水意の如くなら  
ず殊に鰐瀉はそうであ  
る。幕府の新開闢は更  
に熾烈であり、村方も  
藩も他領に入りこまれ  
るのを極度に嫌い、仕  
方なく巻、曾根兩組で  
引請と決つた時、青山  
堀割ならともかく、同  
じ新川堀割ではたと  
う根組百姓がさわぎ出  
し、所謂曾根組越訴で  
ある—庄屋連中も引  
きずられて断つてく  
る。巻組の百姓は漆山  
に集つて庄屋役宅焼打  
まで話がはずんでいる

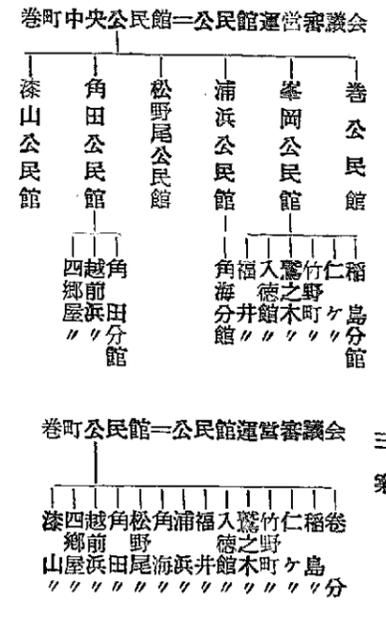
市島家ではうけとつ  
てみたものの最初の目  
論見—底樋をとり扱  
い西川と合流させる案  
—が不許可になつた  
置しておいたようであ  
る。  
そしてそのまま明治  
となり大正となり昭和  
となりつても三十年  
鰐瀉干拓目論見はまた  
脚光をあびることにな  
つたのである。先人も  
し盡あらば来り助けよ  
というところ。  
(以上の資料は中郷  
屋村榎木氏保存のもの  
によつた。記して感謝  
の意を表す次第である  
(斎藤順作記)

# 私はこう考える

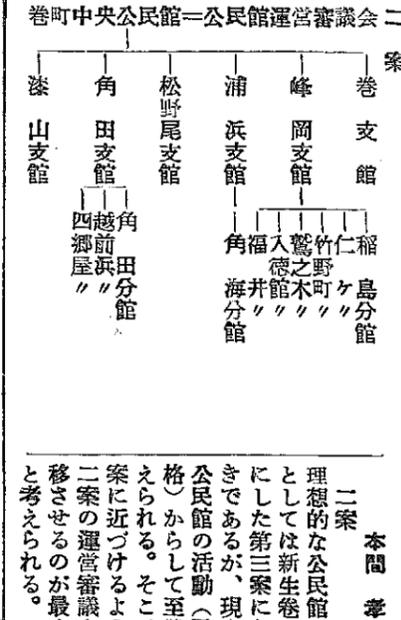
## この儘でいゝか 公民館の機構

御承知の様に町の機構改革がいろいろ問題とされております。教育委員会でも公民館の現在の機構を再検討し適正な配置での活動を望み研究を進めていく様であります。若し公民館の機構改革をやるとしたらどんな形を望まれますか。

公民館の機構は  
一 案(現在の形) 中央公民館に二十名各公民館にも十名の運営審議会委員がある。



二 案(現行の形) 中央公民館に二十名各公民館にも十名の運営審議会委員がある。



三 案(現行の形) 中央公民館に二十名各公民館にも十名の運営審議会委員がある。

二 案 現段階では二案とする専任主任が各公民館に配置された場合三案がよいと考える。ここで担当分館をきめてサイビスする必要がある。

三 案 高橋瀬一郎 馬堀新町が誕生して一年有余を経過し総ての行政が一体化しある現在、独り公民館のみ各地区に分れて主体性をもち分れる不都合である。故に第二案を支持する。尚、角田、角田の如く多くの分館を置くことは前の意味からして最も不合理である。思ふ。出来れば分館全部の廃止を望むものであるが、地域的運営に支障ありとすれば、峯岡に於て松野尾、仁ヶ、竹野町と松野尾、仁ヶ、竹野町と又角田、角田、越前、四郷、漆山、山屋、山屋、山屋の存置は止むを得ない。認む(角海分館は廃止)。

三 案 山賀辰二 松野尾長沼 春巻 統合した巻町公民館は簡素で、しかもつきつりした型と機構を持つていてと思われ三

案を望みます。そしてこれを運営する審議委員は各十四分館地区から二、三名程度で、公民館規約による適当な人々を推薦していただく。現在のままで多人数すぎます。

三 案 結城イサ 五ヶ浜新町の健全な発展からいへば機構の合理化も勿論大切なことであります。新生巻町の一端と云つても私共交通不便の僻地に住む者の悩みは冬期間の出張であり平地地帯の人々の想像に出来ぬ苦勞が有ります。整備後は連絡の強化を切望いたします。

三 案 長谷川義雄 松野尾機構を簡素にして諸経費を削減すると共に各分館長の迅速な活動による公民館活動の効率化を希望します。



稲島 桑原 九十

私は(旧峰岡地区)村道の道路の見廻りをしているもので、すが、道路のことに一言お願い申し上げます。私にとっては、砂利が米一粒にも当る位に感じさせられております。そこで子供さんたちにお願いたしますが、道路の砂利を田や川等に投げないようにはして下さい。又大人の方でも田や川の草や小枝などを道に出さないように、草や泥などを穴のあいてるところに穴のあいてる直りませんとし、かえつて見にくくなつて遊効果になります。私も道路人として少しでもごほごほをおして皆さんが気持ちよく通れるように努力いたして行きたいと心がけております。(道路管理人)

長谷川義雄 松野尾機構を簡素にして諸経費を削減すると共に各分館長の迅速な活動による公民館活動の効率化を希望します。

職員に主眼をおきその地域に即応した存在を考ふる。第二、三、四各案の性格、内容説明がなければならぬが中央集権的なあり方に希望せず。

久保田トシ 巻に巻町公民館を置き本館を充実させ(職員を増員)町全体の共通事業を強力に推進していただきたい。そして担当区域を縮めていただけなら職員も十分に活動出来ると思ひます。

# 火の用心

## 講習会に参加して

松野尾 山本 栄一 近嵐 省一郎

巻町第一回青少年講習会が二月十七日から十九日まで二泊三日松野尾小学校を会場に四十三人と言ひ多の青年達を集めて開かれた。有意義なる実践を学び乍ら和気藹々の日々を送り、よき同朋を得ることが出来、心から嬉しく思つております。この講習会は主として正しい青年団の在り方で、団の本質、活動、運営これに附随するレクリエーションから、就寝、起床、食事という社会性を身につけた一日の生活を通じての団体生活でした。広く町政から内外の状況についても学び青年団員という自覚にもえて自己を正し養ひ得る事が出来ました。皆にこゝろをこめて、やがて仲間達も嬉しみのだるう、昨日迄見知らなかつた人も今はもう友なものである。講話はほとんど休憩する暇もない、ぎつしりとプログラムが組まれてゐる、第一日はやはり緊張して

力となつて我々青年を励ましてくださるものでした。三日間と言ひ短い期間でありましたが、受講した事によつて、自己を見つめ、多少なりとも青年団の本質並びに活動として運営等掴み得たことを感謝いたしております。

尚来る二十一日東京に於ける授賞式に石山主事が上京する。(五) 弁論大会 来る十八日午後一時より巻小学校を会場に巻町青年弁論大会を開く。連合青年団代表を目前に各青年団代表によるこの弁論大会に期待が寄せられている。

去る十九日午前十時より金仙寺を会場に峯岡地区青年大会を開く。青年の悩み生活の悩が真剣に討議された。参加者百二十八人。

去る二月十九日巻小学校に於て総会を開いた巻婦人会では昭和三十年度会計報告並びに役員改選を行った。

去る二月十九日巻小学校に於て総会を開いた巻婦人会では昭和三十年度会計報告並びに役員改選を行った。



「ばざのある風景」

去る二月の県内スライドコンクールに入選

直接の製作者は石山主事で製作の意図は、はざのある風景は確かに米どころ蒲原野特有の眺めである。だがそこには治水などの悪条件と斗つて来た苦闘の営みもまた未解決のまま残されてお

去る二月十九日巻小学校に於て総会を開いた巻婦人会では昭和三十年度会計報告並びに役員改選を行った。

去る二月十九日巻小学校に於て総会を開いた巻婦人会では昭和三十年度会計報告並びに役員改選を行った。

## 社会教育に対する私見

相馬 久美

社会教育の示める分野は極めて広大であり重要であることはいうまでもないが、社会的な福祉増進、教養の向上などを目的として行われるもので一部分の成員にのみ可能なスケジュールとか又経済的社会的な制約を受けにくいような社会教育計画乃至組織を作成することは必要でありこの点十年有余の活動の跡から改善された機上プランでなく真の意味の活動計画が作られてよいか。又たいと之を綿密周到な具体的合理的な計画をもつてしても社会成員の認識と理解なくして成就することは不可能である。これは古語にもある如く馬を川辺に連れて行くことが出来るが水をのませることができない。このように馬が欲しているものは水でなく草であるかもしれない。社会成員の無理解がある程度カバーすることのできる手段があるようないやうか。社会成員の欲求がどこにあるかの問題のようには思われたい。私は深く社会教育を理解しているものでありませんが、極めてあつかましくなっておりますが社会教育に

よく見きわめた上で立案でなければならぬと思ひます。一方社会成員の欲求にそつたものが提示されたとしてもすぐこれを飛びついて行く実態でしようか。先例の馬が渴を覚えているところへ水を供給したとすると、社会的因習の保守的な手綱でしつかりと結ばれていての場合もある。水が所へ行く道程に障害物があることもあり、少くとも私には婦人会という組織

去る二月十九日巻小学校に於て総会を開いた巻婦人会では昭和三十年度会計報告並びに役員改選を行った。

去る二月十九日巻小学校に於て総会を開いた巻婦人会では昭和三十年度会計報告並びに役員改選を行った。

# より美しく生きよう

— 青年問題集會に参加して —

坂田節子

本県の代表として去る二月二十七日より三月一日まで東京の日本青年會館で行われた全国青年問題研究集會に参加された岩室村青年團の坂田節子さんから特にその集會の模様について御寄稿いただきました。

全国各地から集つた青年約八百人、集つた多くはほとんど農村の青年たちでした。生活の貧困、古いしきたりの中に縛られてくる青年の生活、そして結婚問題等々いろいろの状態の中にもうごめいてる私たち青年は一体どうしたらいいのだろうか。途方にくれている多くの仲間を知りその人たちの生活と比べたら同じ農村に住む私はあまりにも恵まれている様な気がいたします。

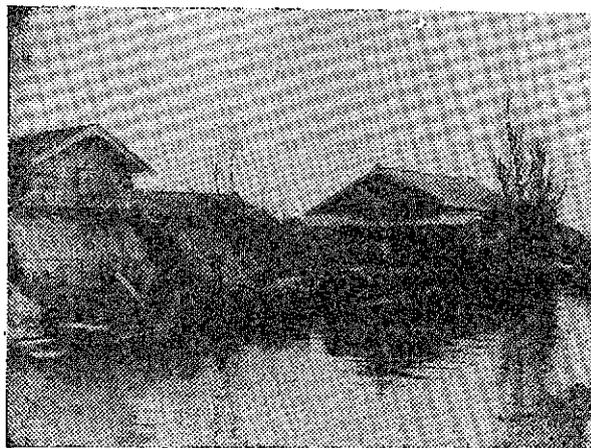
この研究集會は青年の生活をよくしよう、女性の地位高揚、民主主義と平和を守ろう。青年の教育は青年の手で育てよう。組織を強くしよう。この五つのスローガンのもとに生活、組織活動、学習活動、社会活動に分け、分科會で話し合いました。

第一部會「青年の生活」

では恋愛のこと、結婚の問題、喜しのこと、親子関係、特にくらしの問題は大きく一人一人のくらしの貧しさ、封建性が問題とされてきました。

第二部會「学習活動」では生活記録、教育制度、模範教員活用による学習、指導者の問題、ことに青年が求めている学習方法等。

第三部會「組織活動」グループ活動、運営の民主化、青年團と地域との問題、行事青年團から考える青年團へ、出隊の問題、機関紙と調査活動、自主財政と事務機構等話し合いの中に一番問題となつたのは



お互が信頼される仲間にならうという事です。第四分會「社会をよくする運動」では調査の重要性、衣食生活の改善、結婚のこと、生活の共同化、環境衛生、政治活動、他団体との協力、選挙のこと等話し合いました。

この報告の中にも皆の生活がぎりぎりの貧しき生活をしていられることがわかれる。しかし苦しい中にも仲間をつくらう。そして地域に残された多くの問題を一つ一つ解決し青年たちの幸を願ひ、生活をよくするための青年團にしようとする全国の仲間八百の聲は輝いていた。コーラス「幸の

歌」に相續して泣く一場面もあつた。甘い思いや夢ではない。少くとも現在よりはより美しく明るい社会を作ろうと誓ひ日本青年會館をあとにしました。(岩室村青年團員 郡團副團長)

## 役場の窓口

### 共同募金

昭和三十年年度の巻町共同募金集計がまとまつたのでお知らせします。目標額二六三、八二六円、八二六円、九〇〇円となり、超過分六九、〇七四円の使途について、は堀山及赤さび地内の児童遊園地にスベリ合各一台、小学校には「ウスベリ」を寄贈するよう新設されました。

役場事務の迅速化を図つてこの度交換合が

電話の交換台が出来ました

一日中排水機を廻している家もある。あちこちの田圃から天然ガスの管が引かれてはいる。田圃の方向に、トッコ網を探る舟が二、三艘、カンカンポイの櫂の音も風につけて聞える。土手にはひびに汚れた童等が、葎の茎を腰に差して戦さごっこに興じている。漕から舟が帰ってくる。子供を抱いた女が冬囲いの家からのつそりと出て迎えている。やがて西山にほんのりと

## 漕のくらし

町を出て約二軒、灰色の空がだんだん拡がり、雪解けの野づらに早春の風は尙肌寒い。

巻町十二区とはいえ、この漕の部落は六、七軒、葎の冬囲いを庇からめぐらして、寒風に吹きさらされたように立ちならんでいる。

軒場にはトッコ網などの冬の漁撈の道具が雑然と乾かされており、川べりには呼鳥に用いる家鴨が飼われ、舟が繋れている。



昭和三十年度巻町共同募金結果報告

目標額 二六三、八二六円  
 實際募金額 三三三、九〇〇円

各地区別明細

地区別	目標額	募金額	過不足
巻	一八〇、八〇〇円	一八七、三三〇円	六、五三〇円
漆山	五五、二〇〇円	五五、二〇〇円	〇
峰岡	二九、五七〇円	二九、五七〇円	〇
松野尾	二〇、二二〇円	二〇、二二〇円	〇
角田	二〇、八七五円	二〇、八七五円	〇
浦田	四、八八六円	四、八八六円	〇
五部落	六、八八六円	六、八八六円	〇
合計	三三三、八八六円	三三三、九〇〇円	一四、〇一四円

役場の呼出しは一九〇番です御用のある際又は氏名を言つて下さい

糞尿の処理について

化学肥料の出廻りから農家では町部の汲取りをあまり希望しなくなり、その処理に困るから町で善処して欲しいとの申出もありましたので、先般巻地区二、〇〇〇世帯を対象に現況を調査したところ次のような結果が得られました。

- 一、調査対象、世帯数 二、〇〇〇戸
- 二、回答率 三六%
- 三、町で処理してほしいと希望される世帯数 三三三戸
- 四、町で処理を希望しない世帯数 一二七戸
- 五、町で処理を希望される率 六〇%

町ではこれらの要望実現については、衛生的処理により農家に肥料として還元する方法等、今後具体的な研究をいたしたいと思ひます。